



工事のおはなし



カリタス幼稚園

2021.4 No.3

子どもたちと工事

どんな音？

工事が行われている日々の生活の中で、子どもたちに“どんな音が聞こえるか”尋ねてみました。ガー、ゴー、ジー、ジュー、ギー、ブーなどの音があげられ、その時に聞こえてきた音に耳を澄ませ、子どもたちなりに擬音語で表現していました。

どこが変わった？

工事の様子をいろいろなところから見学し、前に見た時と比べて、“どう変わった”か、気づいたことを訊いてみたところ、下のようなつぶやきが出され、子どもたちは、“現状”“事実”を淡々と受け止めているようです。

- *ショベルカーが、土を運んでいた
- *木を切っていた
- *岩も運んでいた
- *土を掘ったところ、穴があいていた
- *ジャングルジムが無くなっていた
- *鉄棒が無くなっていた
- *ブランコも無くなっていた
- *砂場が無くなっていた
- *木が少なくなった
- *草があったのに、土だけになっていた



塗り絵を見てみると…

食後の時間などに“働く車”の塗り絵を楽しんでいる子どもたち。よく見てみると、ミキサー車にナンバーがついていたり、ショベルカーの運転席にヘルメットをかぶった作業員さんがいたり…(赤い丸の中)。ただ色を塗るだけではなく、“塗り絵に追加”をしている姿に驚かされました。工事車両に関心を抱いている様子、“働く車”が身近になっていることを実感させられる一コマです。



起工式

4月23日(金)、起工式が行われました。前日から準備されている紅白の幕が張られたテントを見て、預かり保育の子どもたちが「明日は、あそこでパーティーがあるんだよ!」と言っていたそうです。

当日は、聖書朗読、共同祈願、祝福の祈りなどが行われたほか、聖水や塩をまいて土地を祝福したり清めたり、戸田建設の方の進行に沿って『鍬入れの儀』が行われました。いよいよ、本格的に工事が始まります!

